

案件

待機児童対策について

私立保育幼稚園課
公立保育幼稚園課

1. 緊急待機児童対策について

(1) 政策等の背景・目的及び効果

令和4年度（2022年度）当初においては、私立保育所（園）の施設改修等により65人の入所枠拡大を実施しましたが、年度当初に4年ぶりに国の定義に基づく待機児童数が北部エリアで9人となったことを踏まえ、私立くずは光の子保育園（分園）の遊戯室等を一部改修し、令和5年（2023年）4月から臨時保育室を開設するとともに、私立すだち保育園（小規模保育事業B型実施施設）の定員を12人から19人に、また、市立樟葉幼稚園の3歳児クラスの定員を25人から30人に、いずれも当面の間増員するなど、北部エリアの中でも特に保育需要の高い楠葉エリアを中心に緊急待機児童対策を行うものです。

なお、保育需要は地域やクラス年齢に需要の偏在がみられることから、その他のエリアにつきましてもスピード感をもって対応できる手法を引き続き検討していきます。

(2) 内容

① くずは光の子保育園（分園）を活用した臨時保育室の設置

くずは光の子保育園（分園）（楠葉美咲1丁目）は、平成27年（2015年）10月に旧樟葉南幼稚園を改修して定員20人で創設しました。この施設の遊戯室は、約120㎡の広さがあることから、トイレ・手洗いなど必要な設備を設置するための改修を行ったうえで、当該遊戯室の一部を活用し、新たに定員15人の臨時保育室を開設するものです。なお、運営は、くずは光の子保育園（分園）を運営している社会福祉法人に委託します。

◆開所時間：7時から19時まで（日曜、祝日、年末年始は休室）

◆入室対象：保育所等の入所申込を行っているにも関わらず、待機状態となっている児童のうち1歳児から5歳児の保育の必要性の高い児童。

◆利用料：月額 27,000円（給食費別途必要）

国の無償化対象となる場合は、給食費（月額6,000円）のみ実費負担。

② すだち保育園の定員増

すだち保育園（東船橋2丁目）は、平成29年（2017年）4月から小規模保育事業B型として市の認可を受けて保育事業を実施している定員12人の施設です。この度、当該施設の定員を7人増やし、19人にするものです。

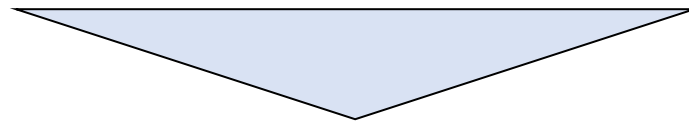
③ 樟葉幼稚園3歳児クラスの定員増

樟葉幼稚園（南楠葉2丁目）は、定員95人の公立幼稚園で、平成31年（2019年）4月から教育時間の前後に預かり保育を実施することで、保育所と同様の時間（7時から19時まで）保育を提供しています。この度、令和5年度（2023年度）から3歳児クラスの定員を5人増やし、30人にするものです。

【現状】

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
くずは光の子保育園（分園）		10	10				20
すだち保育園		6	6				12
樟葉幼稚園				25	35	35	95



【R5年（2023年）4月以降（予定）】

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
くずは光の子保育園（分園）		10	10				20
臨時保育室		15					15
すだち保育園		9	10				19
樟葉幼稚園				30	35	35	100

(3) 実施時期

① くずは光の子（分園）保育園臨時保育室

令和4年（2022年）9月 施設において改修等開設準備着手

令和5年（2023年）4月 開室（予定）

② すだち保育園の定員増

令和4年（2022年）10月 入園募集開始

令和5年（2023年）4月 定員19人で運営開始

③ 樟葉幼稚園の定員増

令和4年（2022年）8月 枚方市立幼稚園の管理運営に関する規則の一部改正

令和4年（2022年）9月 入園募集開始

令和5年（2023年）4月 3歳児クラス定員30人で運営開始

(4) 総合計画等における根拠・位置付け

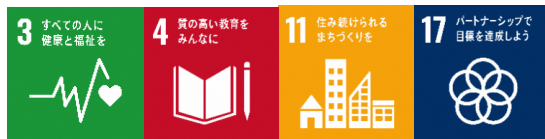
総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち

第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画

施策目標 7 子育てと仕事の両立支援

SDGs との関連



(5) 関係法令・条例等

① くずは光の子保育園（分園）臨時保育室 及び ② すだち保育園の定員増

児童福祉法、子ども・子育て支援法

③ 樟葉幼稚園の定員増

学校教育法、枚方市立幼稚園条例、枚方市立幼稚園の管理運営に関する規則

(6) 事業費・財源及びコスト

① くずは光の子保育園（分園）臨時保育室

【令和4年度（2022年度）9月補正予算】

《事業費》

補助金（開設準備費） 18,521千円

《財源》

国庫支出金 7,913千円

（子ども・子育て支援交付金 補助率1/3、

保育対策総合支援事業費補助金 補助率1/2)

府支出金 1,233千円（子ども・子育て支援交付金 補助率1/3)

一般財源 9,375千円

<今後想定されるコスト>

【令和5年度（2023年度） 当初予算】

≪事業費≫ 23,886千円

委託料（運営委託料） 23,238千円 【12月補正予算債務負担設定予定】

内訳：19,338千円（基本委託料）、3,000千円（障害児保育加算）

900千円（延長保育加算）

※障害児加配や延長保育については、利用実績に応じて対応する。

扶助費（子育て支援施設等利用給付費） 648千円

≪財源≫

国庫支出金 6,446千円（子ども・子育て支援交付金 補助率1/3）

324千円（子育て支援施設等利用給付負担金 補助率1/2）

府支出金 6,446千円（子ども・子育て支援交付金 補助率1/3）

162千円（子育て支援施設等利用給付負担金 補助率1/4）

一般財源 10,508千円

② すだち保育園の定員増

<今後想定されるコスト>

【令和5年度（2023年度） 当初予算】

《事業費》

地域型給付費 約10,000千円（入所児童数増加による差額）

《財源》

国庫支出金 約5,000千円（子どものための教育・保育給付交付金 補助率1/2）

府支出金 約2,500千円（子どものための教育・保育給付交付金 補助率1/4）

一般財源 約2,500千円

2. 市立幼稚園における給食の実施について

(1) 政策等の背景・目的及び効果

本市では、公立幼稚園6園のうち4園において、敷地内で1・2歳児の保育を行う小規模保育事業を実施し「枚方版子ども園」として運営しています。そのうちの2園（枚方・田口山）において、待機児童対策の一環として幼稚園給食をモデル実施しており、令和4年（2022年）10月からは、残る2園（蹉跎・高陵）を含む4園すべての枚方版子ども園における幼稚園給食の本格実施に向けて取り組んでいるところです。

このような状況の中、公立幼稚園を利用されるすべての保護者に対して「幼稚園給食のあり方に関するアンケート」を実施したところ、約9割の方が給食を望んでおられることが分かりました。

については、給食に係るニーズや保護者の負担軽減を図る観点、また、教育時間の前後に預かり保育を実施することにより保育所と同時間の開園をしている公立幼稚園において給食を実施することにより、より保育ニーズにも対応できることから、香里幼稚園、樟葉幼稚園の2園においても、令和5年（2023年）10月から幼稚園給食を実施し、待機児童対策につなげるものです。

(2) 内容

① 実施手法

- ア. 35食を上限とした給食を「選択制」にて実施します。
- イ. 公立保育所、又は公立臨時保育室で調理した給食を、公立幼稚園に搬送します。
- ウ. 給食を蓋付きランチプレートに入れて提供します。
- エ. 希望は1か月単位とし、3季休業期間中においても実施します。
- オ. アレルギー対応については公立保育所と同様に、除去可能な品目に制限を設けず、
2か月毎に保護者、担任、調理員、看護師及び園長を交えたアレルギー懇談を実施します。

② スケジュール

園 人	モデル実施期間	本格実施	新規実施
枚方幼稚園	令和3年(2021年)10月 ～令和4年(2022年)9月	令和4年(2022年) 10月～	
田口山幼稚園			
蹉跎幼稚園			
高陵幼稚園			
香里幼稚園(新)			令和5年(2023年) 10月～
樟葉幼稚園(新)			

③ 利用料

幼稚園給食も公立保育所と同内容で実施することから、公立保育所における実費負担額を踏まえ、1か月につき4,500円を徴収します。

(3) 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち

第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画

施策目標 3 子どもの生きる力を育む環境の整備

施策目標 7 子育てと仕事の両立支援

SDGsとの関連



(4) 関係法令・条例等

学校教育法、枚方市立幼稚園条例、枚方市立幼稚園の管理運営に関する規則

(5) 事業費・財源及びコスト

【令和4年度（2022年度） 9月補正予算】 2,900千円

実施設計委託料（アスベスト検査料含む） 2,900千円

《財源》

一般財源 2,900千円

<今後想定されるコスト>

【令和5年度（2023年度） 当初予算】 37,238千円

工事請負費 25,000千円（配膳室設置工事費）

※アスベストが発見された場合は増額の可能性があります。

庁用器具費 6,008千円

（給食運搬用車両1台分、食器洗浄機、食器消毒保管庫、冷凍冷蔵庫など）

消耗品費 1,960千円

（食器・食缶一式など）

人件費 2,380千円（調理補助員2人×6か月）※会計年度任用職員

賄材料費 1,890千円（2園×6か月）※保護者負担分

《財源》

幼稚園給食費負担金 1,890千円（半年分）

一般財源 35,348千円